

コンパクトディスク チェンジャーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。

この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-555RF



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

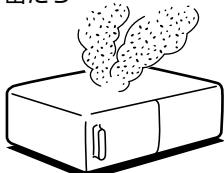
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

準備

△警告・△注意	4
---------------	---

▶準備

まず、本機をリセットする	6
リモコンを準備する	7
CDを入れる	8
送信周波数を設定する	10

使
え
ま
す
読
ん
で
も

▶ここだけ読んでも使えます

CDを聞く	11
-------------	----

▶その他の操作

CDに名前をつける	14
出力レベルを設定する	16
重低音を強調する	17

そ
の
他
の
操
作

付録

付
録

使用上のご注意	18
各部のなまえ	20
故障かな？	22
保証書とアフターサービス	23
主な仕様	24



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの
原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



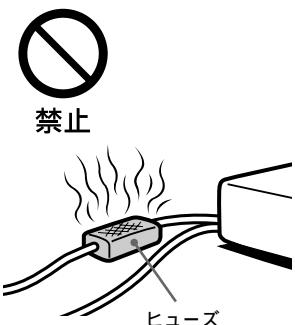
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



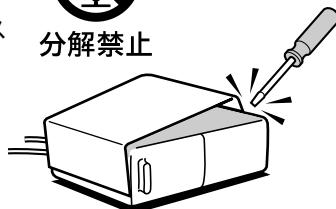
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないとけがをしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはされ、けがの原因となることがあります。



禁止



電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出してください。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

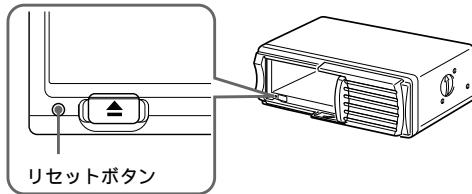
もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとつから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

はじめに

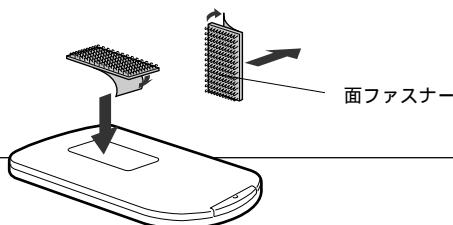
本機に接続したCDチェンジャーの音声をFM信号に変換して送信し、FMチューナーで受信して聞くことができます。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、CDチェンジャーのリセットボタンをつま楊子の先などで押す。



リモコンを準備する



車内に取り付ける

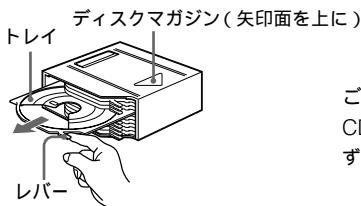
裏面に付属の面ファスナーを貼り、操作しやすい場所に取り付ける。

ご注意

- 取り付ける前に、取り付けようとする場所からリモコンで本機を操作できるかどうか確認してください。
- 取り付け場所の表面をきれいに拭いてから貼ってください。
- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形する恐れがあります。直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを外してグローブボックスの中など直射日光の当たらない場所に保管してください。

CDを入れる

1 ディスクマガジンからトレイを1枚ずつ引き出す



ご注意

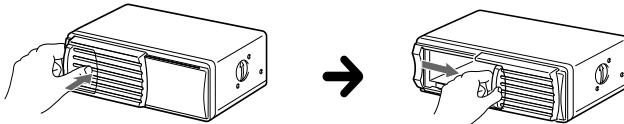
CDの落下防止のためにトレイは1枚ずつ引き出してください。

本機のディスクマガジンはXA-250/250Rをお使いください。XA-10B/XA-350はお使いになれません。

2 ディスクマガジンにCDを入れる

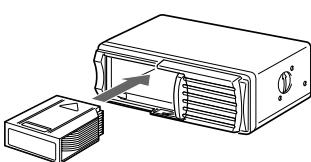


3 ドアを押し、ロックを外して矢印の方向に開く



けがの原因となりますので、CDチェンジャーの内部に手を入れないでください。

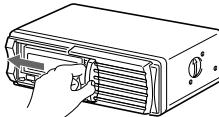
4 ディスクマガジンをCDチェンジャーに入れる



ご注意

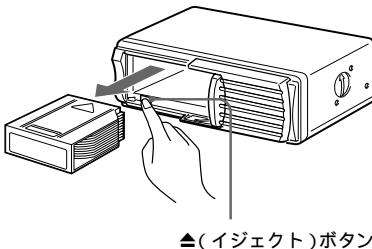
- ディスクマガジンが確実にロックするまで押し込んでください。
- ほこりや異物が中に入るとCDチェンジャー内部の読み取りレンズが汚れます。

5 ドアを閉める

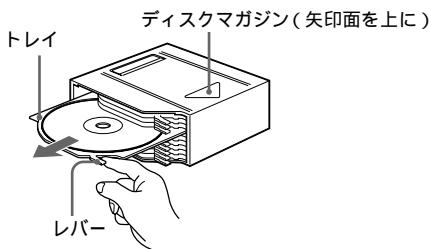


CDを取り出す

1 CDチェンジャーからディスクマガジンを取り出す



2 ディスクマガジンからCDを取り出す

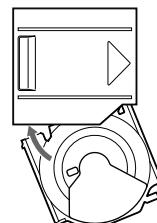


ご注意

8cmCDを聞くときは、ソニーCDシングルアダプターCSA-8(別売り)をお使いください。その他のアダプターをご使用になりますと、動作しない場合があります。またソニーのアダプターをご使用になる場合は、アダプターの3つの爪を確実にディスクに取り付けてください。アダプターを使わないと故障の原因になります。

トレイがディスクマガジンから外れてしまった場合

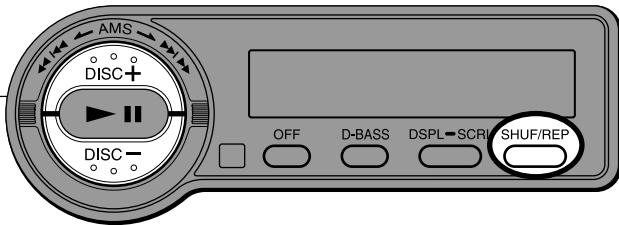
通常トレイはディスクマガジンから外れないようになっています。もし外れてしまった場合は、右図のようにトレイの切り込みのあるほうを自分のほうに向けて右端をディスクマガジンに差し込んでから、左端をカチッと音がするまで差し込んでください。



ご注意

トレイは必ず表裏正しく差し込むようにしてください。

送信周波数を設定する



本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している(本機からFMチューナーへ送信する)周波数と同じ周波数のFM放送があると、CD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 SHUF/REPボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す



2 DISC + / - ボタンを繰り返し押して、周波数を選ぶ
DISC - ボタンを押すたびに周波数は次のように切り換わります。

88.3 MHz → 89.9 MHz → 89.7 MHz → 89.5 MHz → 89.3 MHz → 89.1 MHz → 88.9 MHz → 88.7 MHz → 88.5 MHz



DISC + ボタンを押すと、逆順に表示されます。

3 最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す

リモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。

1 SHUFボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す

2 DISC + / - ボタンを繰り返し押して、周波数を選ぶ

3 最後にSHUFボタンを2秒以上押す

ご注意

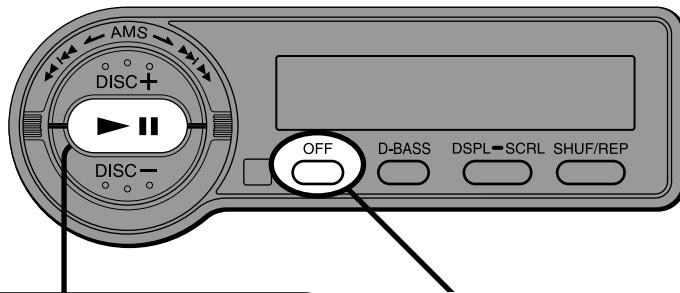
- 本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。
- 停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶IIボタンを押してください。

CDを聞く

ここだけ読んでも
使えます

1 カーオーディオのFMチューナーを 本機で設定した周波数に合わせる

初期値は88.3MHzです。



2 ▶IIボタンを押すと 再生が始まる

プレイ/ポーズ
(▶IIボタン)



再生中に押すと一時停止します。



電源を切る
オフ
(OFFボタン)

音量 / 音質について

カーオーディオ側で調節します。

ご注意

- CD再生を止めるとスピーカーからザーという雑音がでます。カーオーディオの音量を下げてから再生を止めるようにしてください。
- ディスプレイの▶IIボタンを押すと、自動的にCD再生がはじまります。

ご注意

停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶IIボタンを押してください。

次のページへつづく

CDを聞く(つづき)

曲の頭出しをする(AMSコントロール)



とばしたい曲の数だけ押し下げます。

リモコンで操作するには

エーエムエス/マニュアル

AMS/MANU◀◀◀▶▶ボタンを押して、同様に曲の頭出しができます。

聞きたいところを探す

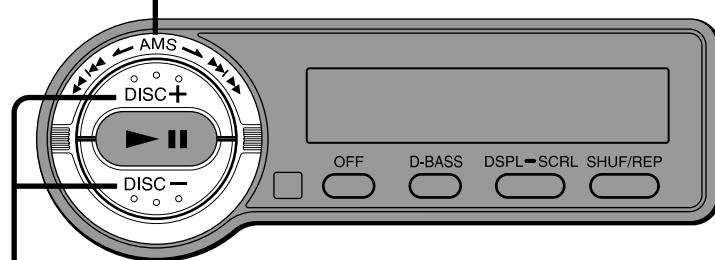


コントロールを押し下げつづけ、聞きたいところで離します。

リモコンで操作するには

エーエムエス/マニュアル

AMS/MANU◀◀◀▶▶ボタンを押しつづけて、同様に聞きたいところを探すことができます。



ディスクの頭出しをする(DISC +/- ボタン)



押した回数だけ、前または先のディスクの頭出しをします。

リモコンで操作するには

ディスク

DISC +/- ボタンを押して、同様にディスクの頭出しができます。

繰り返し聞く(リピート演奏) (SHUF/REPボタン)

再生中に繰り返し押して、表示を切り替えます。

押すたびに以下の順番で表示が変わります。

SHUF 1 SHUF 2 REP 1 REP 2 消灯

SHUF/REP 「REP1」：再生中の曲を繰り返す。

「REP2」：再生中のディスクを繰り返す。

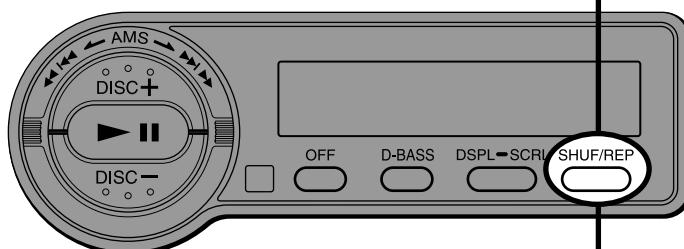
表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

リモコンで操作するには

リピート

REPボタンを押して同様に繰り返し聞くことができます。

(リモコン操作の場合、「SHUF 1」、「SHUF 2」は表示されません。)



曲順を変えて聞く(シャッフル演奏) (SHUF/REPボタン)

再生中に繰り返し押して、表示を切り替えます。

押すたびに以下の順番で表示が変わります。

SHUF 1 SHUF 2 REP 1 REP 2 消灯

SHUF/REP 「SHUF1」：再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。

「SHUF2」：チェンジャー内のすべての曲を順不同に再生する。

表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

リモコンで操作するには

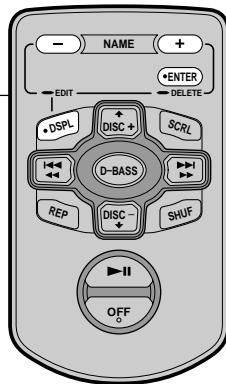
シャッフル

SHUFボタンを押して同様に曲順を変えて聞くことができます。

(リモコンの場合、「REP1」、「REP2」は表示されません。)

CDに名前をつける

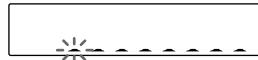
(ディスクメモ機能)



(リモコンの操作のみ)

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はCDチェンジャーに記憶され、CD110枚分の名前を保存できます。

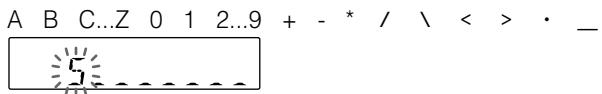
-  1 再生中に、DSPL/-EDITボタンを表示が点滅するまで2秒以上押す



- 2 文字を入力する



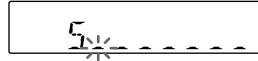
- ① NAME + ボタンを繰り返し押して、文字を探す



NAME - ボタンを押すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは「_」(下線)を入力します。

- ② 文字が見つかったら、ENTER/-DELETEボタンを押す

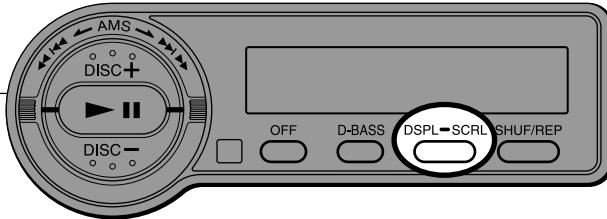


まちがえたときは、ENTER/-DELETEボタンを押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- ③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する



- 3 最後に、DSPL/-EDITボタンを2秒以上押す



名前を表示するには



再生中にDSPL-SCRLボタンを押して、名前表示に切り換える。

押すたびに以下の順番で表示が変わります。

再生経過時間　ディスクの名前　曲の名前

リモコンのDSPLボタンでも同様に表示を切り換えることができます。

ご注意

- CD TEXTの表示は、CD TEXT対応のCD再生時に表示されます。
- CD-TEXTディスクにディスクメモ機能で名前をつけた場合は、ディスクメモでつけた名前が表示されます。
- 登録した曲の情報を読み取り中の場合は、「**WAIT**」と表示されます。
- 名前を登録していないときは、「*****」または「NO NAME」と表示されます。
- CD TEXTディスクに記録されている名前をアルファベット（小文字は大文字に変換）、数字、記号で表示できます。

長いディスク名、曲名をもう一度見るには



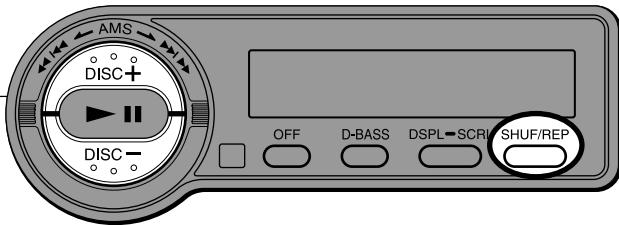
再生中にDSPL-SCRLボタンを2秒以上押して、長いディスク名、曲名をスクロール表示する。

リモコンのSCRLボタンでも同様に長いディスク名、曲名を見るこ
とができます。

名前を消去するには（リモコンのみ）

- 1 再生中に、DSPL/-EDITボタンを表示が点滅するまで2秒以上押します。
- 2 ENTER/-DELETEボタンをDISC NAME表示が点滅するまで2秒以上押します。
- 3 NAME + / - ボタンを繰り返し押して、消したい名前を表示させます。
- 4 ENTER/-DELETEボタンを押して、DISC NAME表示と消したい名前を点滅させます。
- 5 ENTER/-DELETEボタンをもう一度押して、名前を消去します。
- 6 最後にDSPL/-EDITボタンを2秒以上押します。

出力レベルを設定する



カーオーディオのFMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベル(LEVEL1~5)を設定できます。

ふつうは初期値(LEVEL3)で使用しますが、必要に応じて切り換えてください。



1 SHUF/REPボタンを2秒以上押す。



2 もう一度SHUF/REPボタンを短く押す。

LEVEL 3 初期値



3 DISC + / - ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。

DISC - ボタンを押すとレベルが低くなります。

LEVEL 1

DISC + ボタンを押すとレベルが高くなります。

LEVEL 5



4 最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す。

リモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。

1 SHUFボタンを2秒以上押す。

2 もう一度SHUFボタンを短く押す。

3 DISC + / - ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。

4 最後にSHUFボタンを2秒以上押す。

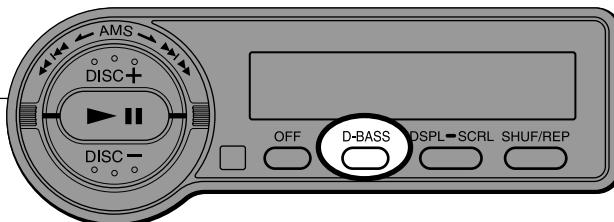
ご注意

出力レベルを4または5に設定した場合、お聞きになるCDによっては音が歪んだり雑音が発生したりすることがあります。その場合は、本機の出力レベルを下げた後、カーオーディオの音量を上げて行き、お好みの音量でお聞きください。

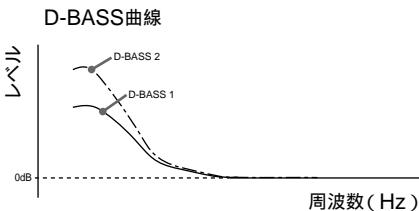
重低音を強調する

ここのだけ
読みでも
使えます

その他の操作



D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域を強調するため、同じ音量で力強い低音を楽しめます。



D-BASSボタンで低音を調整する



D-BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定に切り換える
ボタンを押すごとに表示が

—— D-BASS 1 D-BASS 2 消灯 ——

と切り換わります。

数字が大きいほど低音が強調されます。

通常に戻すときは、D-BASSボタンで消してください。

ご注意

- 出力レベルを4、5に設定しD-BASSをお使いになった場合、D-BASS OFF時に比べて音量が小さくなりますが、歪みを抑えるため、故障ではありません。カーオーディオ側で音量を調整してお使いください。
- D-BASS 2時、お聞きになるCDによっては歪みが発生することがあります。その場合、D-BASS 1にするか、出力レベルを下げてお使いください。

リモコンで操作するには

D-BASSボタンを押して同様に低音を強調することができます。

使用上のご注意

ディスプレイの表面を傷めないために

ディスプレイ表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じことがあります。このような現象を結露といいます。結露したままで、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はサービス窓口にお申しつけください。

ディスクについて

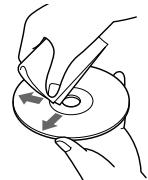
• ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音飛びなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



• ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。



- 再生する前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることができますので、使用しないでください。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどのりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。



- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取りだせなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまう為、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音飛びがするなど)

- このようなディスクがさらにディスクマガジン内の他のディスクを傷つけることがあります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R*(レコードダブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-Rディスクは再生できません。
- CD-RWは再生できません。

* 音楽用CD-Rでディスクには下記のマークが印刷されています。



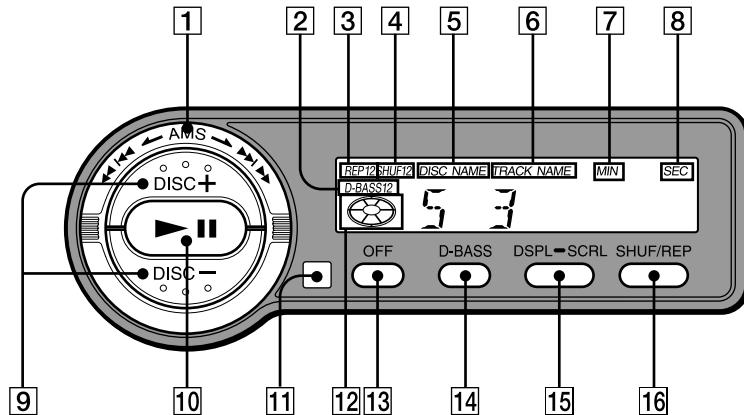
下記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-Rではありません。



各部のなまえ

ディスプレイ (RM-X80RF)

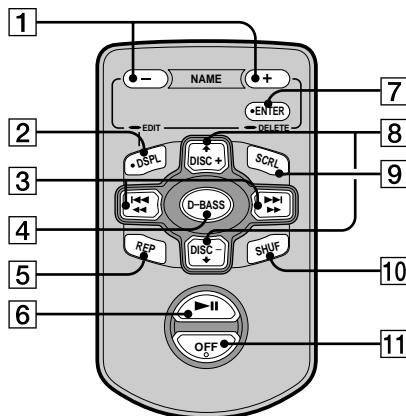
内のページにくわしい説明があります。



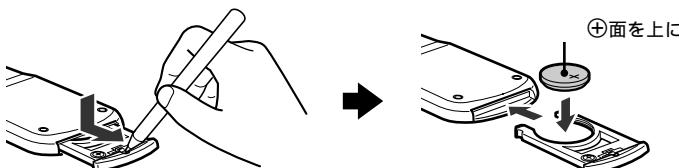
- ①** エーエムエス
AMS(早送り・早戻し/頭出し)コント
ロール ⑫
ディーベース
- ②** D-BASS(低音強調)表示
リピート
- ③** REP(リピート演奏)表示
シャッフル
- ④** SHUF(シャッフル演奏)表示
ディスク ディスク ネーム
- ⑤** DISC/DISC NAME(ディスク番号/
ディスク名)表示
トラック トラック ネーム
- ⑥** TRACK/TRACK NAME(曲番号/曲
名)表示
ミニット
- ⑦** MIN(分)表示
セコンド
- ⑧** SEC(秒)表示

- ⑨** ディスク
DISC+/- (ディスク切り換え)ボタン
⑩ ⑫ ⑯
シーディー
- ⑩** ▶II(CD再生/一時停止)ボタン ⑩ ⑪
シーディー
- ⑪** リモコン受光部
シーディー
- ⑫** CD再生/一時停止表示
オフ
- ⑬** OFFボタン ⑪
ディーベース
- ⑭** D-BASS(低音強調)ボタン ⑯
ディスプレイ スクロール
- ⑮** DSPL-SCRL(表示切換/スクロール)
ボタン ⑯
シャッフル リピート
- ⑯** SHUF/REP(シャッフル演奏/リピート演奏/周波数設定/出力レベル設定)
ボタン ⑩ ⑪ ⑯

リモコン(RM-X81RF)



- ネーム
① NAME+/- (文字選択) ボタン ⑭ ⑮
ディスプレイ エディット
- ② DSPL-/EDIT (表示切換 / ディスク名編集) ボタン
エディタス マニュアル
③ AMS/MANU/◀◀◀◀▶▶▶▶ (頭出し / 早送り・早戻し) ボタン ⑫
ディーベース
- ④ D-BASS (低音強調) ボタン ⑯
リピート
- ⑤ REP (リピート演奏) ボタン ⑬
シーディー
- ⑥ ▶▷ (CD再生 / 一時停止) ボタン ⑪
- エンター デリート
⑦ ENTER/-DELETE (入力 / 消去) ボタン ⑭ ⑮
ディスク
- ⑧ DISC +/- (ディスク切り換え) ボタン ⑩ ⑫ ⑯
スクロール
- ⑨ SCRL (スクロール) ボタン ⑮
シャッフル
- ⑩ SHUF (シャッフル演奏 / 周波数設定 / 出力レベル設定) ボタン ⑩ ⑬ ⑯
オフ
- ⑪ OFFボタン ⑪



ボタン型リチウム電池を入れる

ボタン型リチウム電池CR2025を、^④面を上にして正しく入れる。

ボタン型リチウム電池は、ふつうの使いかたで約6か月もちます。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。

テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
操作ができない。	<ul style="list-style-type: none">内蔵のマイコンが誤動作している。 →CDチェンジャーの▲(イJECT)ボタン横のリセットボタンを押す。接続コード類がしっかり差し込まれていない。
音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none">CDチェンジャーが不安定な場所に取り付けである。 →頑丈な場所に取り付け直す。ディスクがひどく汚れている。→ディスクをクリーニングする。ディスクにキズがついている。→ディスクを交換する。

CDのエラー表示

CDチェンジャーが誤作動すると、エラー表示が約5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
NO MAG	ディスクマガジンがCDチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NO DISC	CDチェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
ERROR	ディスクが裏返しになっている。 ディスクが汚れている。	ディスクを正しく入れ直す。 ディスクをクリーニングする。
RESET	何らかの原因でCDチェンジャーが動作しない。	CDチェンジャーの▲(イJECT)ボタン横のリセットボタンを押す。
NG DISCS	CDチェンジャー内のディスクが何らかの原因で全て再生できない。	ほかのディスクに入れ換える。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではカーオーディオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したとともに、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

付
録

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDチェンジャー(CDX-555RF)

型式	コンパクトディスクデジタル オーディオシステム	その他	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
ワウフラッター	測定限界以下	付属品	ディスクマガジン(1)
出力端子	ディスプレイコントロール出力 端子		取り付け/接続部品(一式)
	FM出力端子		取扱説明書(一式)
	電源端子		ソニーご相談窓口のご案内(1)
消費電流	800 mA(ディスク再生時) 800 mA(ディスクロードイン グまたはイジェクト時)	別売品	保証書(1)
使用温度範囲	-10°C ~ +55°C		CDシングルアダプター
寸法	約262×90×185 mm (幅/高さ/奥行き)		CSA-8
質量	約2.1 Kg		日産ダイバーシティシステム
使用周波数	88.3 MHz/88.5 MHz/ 88.7 MHz/88.9 MHz/ 89.1 MHz/89.3 MHz/ 89.5 MHz/89.7 MHz/ 89.9 MHz (切り換え式)		変換コード XA-82
			歐州車用アンテナ変換コード RC-50、RC-185
			アメリカ車用アンテナ変換コード RC-150GM、RC-160GM
			ディスクマガジン XA-250
			XA-250R

リレーボックス

寸法	40×40×27 mm
質量	140 g

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ディスプレイ(RM-X80RF)

寸法	約122×36.5×15.5 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約255 g

リモコン(RM-X81RF)

寸法	約52×8.5×90 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約30 g
電池	ボタン型リチウム電池 (CR2025)

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話 : 048-794-5194

受付時間 : 月~金 9:00~18:00

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態 : できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax…………… 0466-31-2595

受付時間 :

月~金

9:00~

20:00、

土・日・祝日

9:00~

17:00

<http://www.sony.co.jp/>